青空文庫（1）「吾輩は猫である」（34）夏目漱石　　月　　日　名前

見ながら練習

なぞって練習

猫が来た夜中で泣きもが来たもとい

あきってなく声ですでに神経で大い

る。性のすでる主と出何

弱ま人例のす

飛びし次は必

さんだ屋

せ出

にちを胃

指で尻ぺたたをひなどくは叩

かれた。

※物差：ものさし（青空文庫内読み仮名より）

copyright (c) まる字の無料ペン字練習と漢字検定テキスト集 all right reserved.